

SDGs in 錦二丁目 まちづくりプロジェクト REPORT

2020-2021

SDGs 未来創造クラブ
まちづくりプロジェクト活動報告書



SDGs 未来創造クラブ

目次

プロジェクト概要	1
錦二丁目について	2
事業一覧	3
活動の様子	5
プロジェクト 1 年目 2020 - アイデアの創出 - . . .	5
2020 みちにわ SDGs マルシェ	11
プロジェクト 2 年目 2021 - アイデアの実証へ - .	15
協働事業	16
協力企画	22
自主企画	23
連携イベント	25
ショーケース事業 / 地域プロモーション事業	26
2021 みちにわ SDGs マルシェ	29
2021 マルシェ・WEEKs 実施に向けたアクティビティ図	33
アンケート	35
おわりに	39

プロジェクト概要

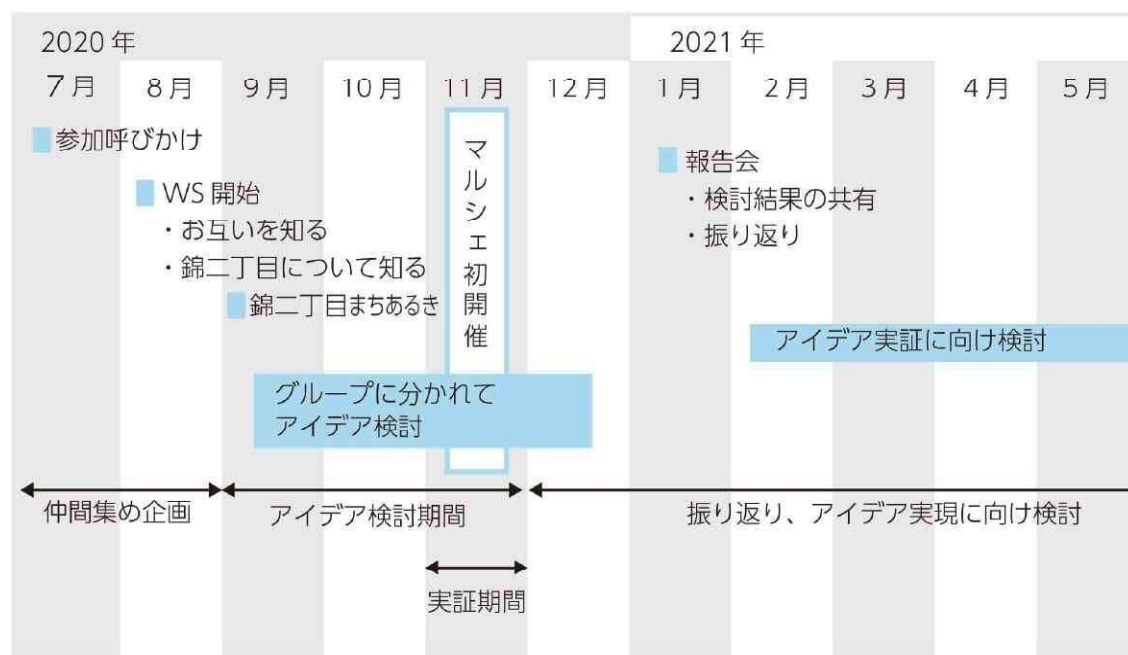
2019年7月に名古屋市は内閣府のSDGs未来都市に選定されました。SDGsの理念を踏まえ、持続可能なまちづくりを進めていくため、2020年に、なごや環境大学にSDGs未来創造クラブを設置し、錦二丁目地区をモデルエリアに、地域課題の解決とSDGs達成に向けた活動に取り組む「SDGsまちづくりプロジェクトin 錦二丁目」を開始しました。

本プロジェクトを進めるにあたっては、地域内外の企業・団体等、多様な主体が分野を超えて集まる「参画型」、環境・

経済・社会を考慮した多様な分野・テーマで検討を進める「統合性」といったSDGsの理念を踏まえて進めてきました。SDGsを共通言語にまちづくりに取り組むことで、非常に多くの主体がつながり、パートナーシップが広がることにより、プロジェクトが大きく発展していきました。

本レポートでは、なごや環境大学と錦二丁目まちづくり団体、企業、大学等の多様な主体とともに、地域の課題解決とSDGsの達成に向けた取組みを進めてきた2年間の歩みをご紹介します。

スケジュール



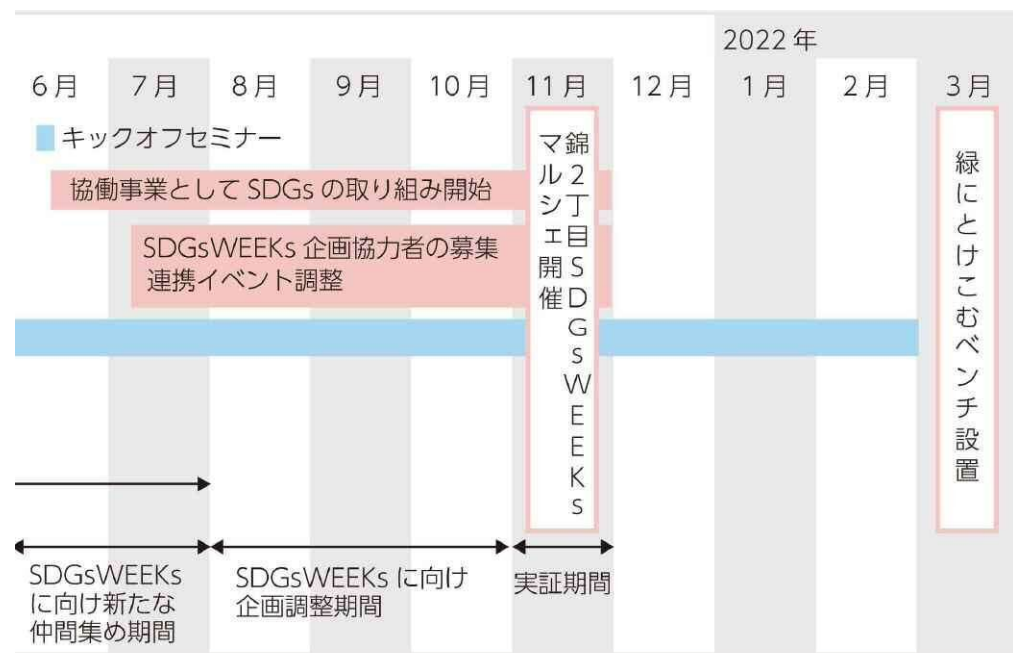
錦二丁目について

名古屋の中心地・栄と名古屋駅の間に位置し、名古屋有数のオフィス街でありながらも、繊維問屋、カフェ、飲食店、ギャラリー等が混ざりあう独特の賑わいがあります。江戸時代には城下の中心地として栄え、戦後は日本三大繊維問屋街の一つとして隆盛を極めました。近年ではまちの衰退をきっかけにまちづくり協議会の設置に加えまちづくり会社の立ち上げなど地域の人々が主体となったまちづくりで注目を集めています。また、不動産や賑わいだけでなく様々なコミュニティ

サービスの充実につなげるため、多様な分野の企業を巻き込んだ 錦二丁目のエリアプラットフォーム N2／LABを立ち上げ参加型・実験型のまちづくりを進めています。これらの活動の担い手である「錦二丁目エリアマネジメント(株)」が本プロジェクトの運営に携わり、「錦二丁目まちづくり協議会」がプロジェクトチームに参加することで、錦二丁目地区でのSDGsまちづくりの実践に結ぶ役割を担いました。

事業のくみたち

本事業	自主事業・企画	まちづくりやSDGsについて学ぶ・実践する	「錦2丁目SDGsWEEKs」「みちにわSDGsマルシェ」にて実証実験を行う
	ワークショップ	錦二丁目のSDGsについて様々な主体が共に構想する	
	ワーキング	ワークショップを元にテーマに分かれて具体化を図る	
	ショーケース事業	ワーキングでのアイデアを実践する	
	協働事業	SDGs まちづくりを実践する主体を募集・支援する	
	協力企画	WEEKs に賛同した企業・団体が主体的にSDGsの企画を実施する。	
連携事業	SDGs 地域プロモーション事業	SDGs を推進するために錦二丁目が自主的に行うプロモーション事業	
	連携イベント	錦二丁目及び近隣にて同時開催されるイベントとの連携	



事業一覧

2020

ワークショップ	2020年8月19日 第1回ワークショップ「錦二丁目のSDGs未来創造とは」	p.5
ワークショップ	2020年8月26日 第2回ワークショップ「錦二丁目のSDGs実践に向けて」	p.5
自主事業	2020年9月2日 オンラインセミナー 企業活動とSDGs	p.5
ワーキング	2020年10月12日、21日、11月9日 Aグループ「SDGsな50年後の錦二丁目の姿」	p.6
ワーキング	2020年10月20日、11月6日、14日、12月11日 Bグループ「人×多様性×活躍」	p.6
ワーキング	2020年10月8日、14日、20日、28日、11月5日、12月15日 Cグループ「環境にやさしいライフスタイル発信」	p.7
ワーキング	2020年9月29日、10月6日、28日、11月6日 Dグループ「快適・安全な生活を支える インフラサービスを考える」	p.7
ワーキング	2020年9月18日、10月6日、20日 Eグループ「スポーツチームと大学の連携でSDGsに取り組もう」	p.8
ショーケース事業	2020年11月27日 28日 みちにわSDGsマルシェ	p.11-14
自主事業	2021年1月20日 SDGsまちづくりプロジェクト in 錦二丁目 報告会	p.8

2021

自主事業	2021年6月9日 キックオフセミナー SDGsでえがくまちと企業の未来	p.15
ショーケース事業	2021年11月6日～20日 錦2丁目SDGs WEEKs	p.15
協働事業	2021年11月6日 大ナゴヤ大学 SDGsを学び、体験しよう～錦二丁目を事例に都市とSDGsの関係を紐解く	p.16
協働事業	2021年11月6日 一般社団法人 グローバル愛知 / 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課 [人と人、人と場所をつなぐ3つのゼミ] 人・多様性×活躍 外国人とつながる国際交流会～留学生バージョン～	p.16
協働事業	2021年11月7日 一般社団法人 日本体験学習研究所 環境学習 in 長者町	p.17
協力企画	2021年11月8日～11月12日 環境省中部環境パートナーシップオフィス ようこそ！EPO 中部へ	p.22
自主企画	2021年11月9日、16日 錦二丁目エリアマネジメント株式会社 錦二丁目まちあるき	p.24
協力企画	2021年11月11日 愛知県労働局 / ハローワーク名古屋中 ハロフェス ～ハロワで発見 SDGs～ セミナー「人と会社を結ぶSDGs入門編」	p.22
協働事業	2021年11月13日 Godavari Cafe_ & Restaurant / 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課 [人と人、人と場所をつなぐ3つのゼミ] 屋上菜園をはじめ食用緑化を広げることで、持続的な都市部の街おこしを学ぶ～錦二丁目地元事業者バージョン～	p.17

p.16	協働事業	2021年11月13日 大ナゴヤ大学 フラワーベースを手作りしよう！「いらないもの」を価値あるものにする
p.22	協力企画	2021年11月3日～14日 コネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 / なごや環境大学 アップサイクル・デザイン・ワークショップ+トーク
p.16	協働事業	2021年11月18日 大ナゴヤ大学 「いい街」ってどうやってつくるの？世界の事例から私の街のことを考えよう！
p.23	協力企画	2021年11月18日、19日 日本銀行名古屋支店 日本銀行名古屋支店見学特別プログラム ～お札の一生について～
p.22	協力企画	2021年11月19日 ハローワーク名古屋中 ハロフェス ～ハロワで発見 SDGs ～ セミナー「女性活躍推進法とは」
p.18	協働事業	2021年11月19日～11月28日 365 wishes 長者町コットンプロジェクトチーム 町を紡ぐ 景色を織る 日々を縫う その手を纏う 長者町コットンプロジェクト
p.24	自主企画	2021年11月19日、20日 A VINTAGE BATON A VINTAGE BATON vol.2
p.18	協働事業	2021年11月19日、20日 長者町スクール・オブ・アーツ (Chojamachi School of Arts) アートファーマーミング TV オリジナル番組「世界のトイレから」
p.21	協働事業	2021年11月27日 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課 [人と人、人と場所をつなぐ 3つのゼミ] 錦二丁目をフィールドとした SDGs スゴロクづくりワークショップ～地域外事業者バージョン～
p.20	協働事業	2021年11月6日～20日 neue株式会社 錦二丁目界隈におけるシェアリングモビリティの実証実験
p.20	協働事業	2021年11月6日～20日 株式会社 New Ordinary NOSPOT による錦二丁目の回遊リコメンド
p.23	協力企画	2021年11月6日～11月20日 中部電力株式会社 でんきの科学館でSDGsを学ぼう
p.23	自主企画	2021年11月6日～11月20日 錦二丁目まちづくり協議会 錦二丁目 SDGs WEEKs 情報ステーション
p.24	自主企画	2021年11月6日～11月20日 名古屋市 まわって学ぼう！SDGs スタンブラリー
p.29-32	ショーケース 事業	2021年11月19日、20日 みちにわ SDGs マルシェ
p.19	協働事業	2021年11月20日 Clear Green Green & __ (マルシェ出展)
p.19	協働事業	2021年11月20日 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社 名城大学プロスポーツビジネス研究会 with 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ (マルシェ出展)
p.21	協働事業	2021年11月19日、20日 サンエー電機株式会社 安心安全と憩いを提供するスマートベンチ (マルシェ内で実施)
p.27	SDGs 地域プロモーション 事業	2022年1月31日までの3か月間 錦二丁目まちなかの「地上機器」を活用した SDGs プロモーション
p.25,26	連携イベント	2021年11月6日、7日、9日、12日、13日、14日、18日、19日、20日 スターキャット・ケーノルネットワーク株式会社 Nishiki-2 SDGs 映画祭
p.25	連携イベント	2021年11月12日～28日 なごや日本博事業実行委員会 streaming heritage2021 autumn 台地と海のあいだ
p.25	連携イベント	2021年11月19日～2022年2月18日 東京海上日動火災保険株式会社 第2回 SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内
p.26	ショーケース事業	錦二丁目 SDGs MAP
p.28	ショーケース 事業	2022年3月15日～ 緑にとけこむベンチ (SDGs コミュニティステーション)

活動の様子

プロジェクト1年目 2020年 ―アイデアの創出―

錦二丁目の地域課題の解決とSDGs達成に向けた取組みを検討しました。

2回のワークショップ、各3回以上のワーキンググループを実施し、アイデアの一部はマルシェにて社会実験を行いました。

SDGs 【パートナーシップ】

point 地域内外の企業・団体・学生など多様な主体がフラットに集まる！

【多様なテーマ・切り口】

歴史、人と多様性、環境、インフラ、スポーツの多様な切り口でSDGsの取組みを検討！

ワークショップ 第1回ワークショップ「錦二丁目のSDGs 未来創造とは」

会場 会場とオンラインのハイブリット開催

日時 2020年8月19日

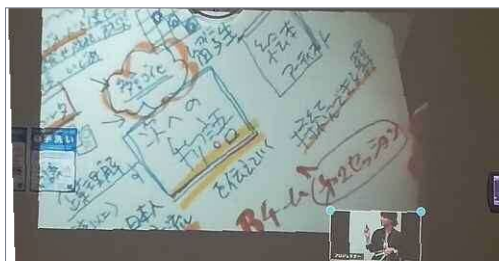


22団体、63名が参加し、千頭先生からSDGsとまちづくりの関係について話題提供、名畑さんから錦二丁目の概要と課題、SDGsの取組みについて説明がありました。その後、事前アンケートの共有や一部企業からのSDGsの取組み発表を通じて、参加者間の交流とプロジェクトの目的の共有を図りました。

ワークショップ 第2回ワークショップ「錦二丁目のSDGs 実践に向けて」

会場 オンライン開催

日時 2020年8月26日



前回のワークショップを踏まえ、SDGsの取組みアイデアがある企業・団体からの話題提供と「この指とまれ」方式でグループ分けを行い、グループワークとディスカッションを通じて、5つのワーキンググループをつくりました。

自主企画 オンラインセミナー「企業活動とSDGs ～SDGsの実践に向けて」

会場 オンライン開催

日時 2020年9月2日

「時代の変化とSDGsにおける企業の役割」と題して岐阜大学客員教授の加藤義人さんより基調講演、自社事業とSDGsの関わりについて、(株)IMOM 松田雄基さんと飛騨五木(株) 渡邊杏奈さんから紹介していただき、企業が実践できる取組についてディスカッションで検討しました。

概要 2020 年 10 月 12 日 18:30 - (長者町コットンビル) / 10 月 21 日 18:30 - (常瑞寺) /
11 月 9 日 18:30 - (IMOM スペース)



＜参加企業・団体＞株式会社 NTT ファシリティーズ東海 / 株式会社サンゲツ / 凸版印刷株式会社 / 株式会社博展中部営業所 / 株式会社マルワ

＜ファシリテーター＞名畑恵（錦二丁目エリアマネジメント株式会社・N2 / LAB）

「400 年の歴史が、400 年の未来へつづくサステイナブルな街へ」をスローガンに、歴史の中にある未来へのヒントもまちの魅力として、マップなどに見える化することが提起されました。また、「まちまるごと SDG s 体験」ができるよう、1 ～ 16 の街区毎の資源と SDGs の 17 目標をかけ合わせることで生まれるオリジナルな体験企画を考えました。地区に立地する企業活動や魅力資源をつなぎ、SDGs に貢献するダイナミックな提案となりました。

概要 2020 年 10 月 20 日 18:30 - (エコパルなごや) / 11 月 6 日 18:30 - (エコパルなごや) /
14 日 18:30 - (エコパルなごや) / 12 月 11 日 18:30 - (常瑞寺)



＜参加企業・団体＞一般社団法人 SDGs アクションラボ / 一般社団法人グローバル愛知 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社ファーストステップ

＜ファシリテーター＞藤森幹人（錦二丁目まちづくり協議会）

SDGs の「人・多様性・活躍」をベースに、地域の住民、就業者、留学生の交流機会をつくり、地域の空き空間や店舗を有効活用するため、錦二丁目の多様な人材と多様な場に出会うサロン「にちょうくら（錦二丁目にくらす）」を提案しました。例えば、タイ人留学生からタイの文化や暮らしに出会うサロン、地域のお年寄りから錦二丁目の歴史を学ぶサロンなど。あわせて地域通貨「にちょペイ」導入で持続的な経済の地域循環も提案しました。

C グループ「環境にやさしいライフスタイル発信」

概要 2020年10月8日14:00ー(長者町コットンビル) / 14日10:00ー(長者町コットンビル) / 20日10:00-(エコパルなごや) / 28日19:00ー(オンライン) / 11月5日18:00-(長者町コットンビル) / 12月15日16:30-(オンライン)



＜参加企業・団体＞株式会社 JTB/ スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社 / CECILIA/ 有限会社ヒットプロジェクト / ブラザー工業株式会社 / ブラザー販売株式会社 / 名城大学 Clean Green/MODECO/ なごや環境大学 ユースクラブ

＜ファシリテーター＞山田卓哉（大ナゴヤ大学学長・N2LAB）

身近な生活の中で感じる環境問題には何か？その解決策として既出の活動以上の提案を街に対してできるのか？を課題意識に議論してきました。Cグループは、生活する上で避けて通れない生ごみの削減・循環の仕組みをつくる「土・緑」、そしてものを大事にして永く使うライフスタイルへの転換を促す「繊維・アップサイクル」の2つのテーマについて議論しました。ここで出たアイデアは11月に開催されたマルシェにて実践しました。

D グループ「快適・安全な生活を支える インフラサービスを考える」

概要 2020年9月29日18:00ー(オンライン) / 10月6日18:00ー(オンライン) / 28日18:00-(IMOMスペース) / 11月6日18:00-(IMOMスペース)



＜参加企業・団体＞佐川急便株式会社 名古屋営業所 / サンエー電機株式会社 / 大日本コンサルタント株式会社 / 東邦ガス株式会社 / 南洋アスピレーション株式会社 / 日本街路灯製造株式会社 / 日本たばこ産業株式会社

＜ファシリテーター＞森田紘圭（大日本コンサルタント株式会社・N2/LAB）

わたしたちの生活に密着したサービスや社会インフラに関わる企業の皆さまと議論を進めてきました。いまや生活に不可欠な宅配・物流を通じた環境配慮や生活支援、日常的な美化や防災を支えるサービス、安全で低環境負荷な夜間照明など、大きな視点ながら生活に身近なシーンをイメージしながら様々なアイデアが生まれました。これらの実現に向けて、まちと企業とで今後も引き続き議論を進めていく予定です。

ワーキング E グループ「スポーツチームと大学の連携で SDGs に取り組もう」

概要 2020年9月18日19:00ー（オンライン）／10月6日19:00ー（オンライン）／
20日19:30ー（オンライン）



＜参加企業・団体＞一般社団法人グローバル愛知／名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社／名城大学社会連携センター PLAT

＜ファシリテーター＞岡本ナオト（株式会社 R-pro・N2/LAB）

まちとプロスポーツ双方の課題を、SDGs を活用して解決したい！という想いから考えた案は、端切れや古着を再利用したファブリックパネル・エコバッグ作りの体験、バスケットゴールを中心とした異文化交流の場の提供など多岐に渡りました。マルシェで実現した企画は、SDGs の 8.12.13.17 番を体験できるものとなり、お客さんと共に楽しみながら伝えることができました。また活動を通じて、まちもプロスポーツもより発展していく可能性を秘めていることを実感しました。

自主事業 SDGs まちづくりプロジェクト in 錦二丁目 報告会

会場 オンライン開催

日時 2020年1月20日



8月から半年にわたって取り組んできたSDGs まちづくりプロジェクトの1年目の報告会をオンラインで実施しました。各ワーキンググループから検討結果とSDGs の取組みに関する様々なアイデアが発表されました。また、11月に開催した「みちにわSDGs マルシェ」の振り返りと、マルシェで実施したワーキンググループの検討アイデアの実証の紹介がありました。

ワークショップで提案されたアイデア

自然・ 里山のようなまち

- ・都市の木質化
- ・森との連携

子どもを育む街

- ・親子が安心して遊べる空間
- ・誰かの故郷であり続ける街
- ・子ども時代の遊びにまちの未来のビジョンがある

快適・安全な暮らしを支える 生活インフラを考える

- ・新しい働く日常実験基地・ビジネスの魅力的なまち
- ・くらしごと（職作融合の豊かなまちへ）
- ・交流コミュニティスペースの設置

個性的風景 （風景が語る）

- ・木造高層
- ・観光客が楽しめるまち
- ・歩いているだけで楽しい

循環

- ・ごみ対策
- ・地産地消
- ・アップサイクル



SDGs な
50年後の錦二丁目の姿

新しい ライフスタイルの 発信

- ・ごみを堆肥にする
ライフスタイル
- ・繊維のサイクルを

地域 Pay で持続的

- ・地域Pay「にちよべい」の
店舗、エリマネ会社をつ
- ・行政ポイントや地域商品

アート

×

文化

×

短歌会館

×

延藤文庫

- ・文化が根づく発信源
- ・世界に稀有な短歌会館をPR
- ・文字文化 世界の識字率を高める
- ・本や印刷を核にしたコミュニティづくり

織りなす〜人 × 多様性 × 活躍

- ・誰もがアクセスできるまち
- ・絵本、書籍、多言語翻訳ツールの導入
- ・老若男女問わず、国籍問わない
- ・デジタル技術を生かして、バーチャル
案内人“錦めぐみ”の提案

SDGs ま
で各ク
錦二丁目

D

快適・安全な暮らしを支える
インフラサービスを考える



地域の様々なニーズや 社会課題に応える仕組みづくり

- ・宅配を活かした総合暮らしサービスの実現
クリーニングや配食、食品ロス低減、
見守りサービスなど
- ・共同配送による安全安心な道路環境の実現
宅配を中心とした地区の物流を集約し安全な
道路環境の実現と多様な人が柔軟に働ける業務へ
- ・スマートLEDによる夜間も安心なまち実現
効率的でスマートな街路灯やベンチなどの
整備と夜間における安全安心の提供

まちの現在の活動との連携

- ・防災・美化のコミュニティづくりへの表現
- ・多様な主体による地域の一斉清掃
- ・都市の木質化の活動が日常的にできるコミュニティの仕組みづくりと拠点の運営
- ・エコクッキングに対応した飲食店が集う環境に優しいまちづくりの展開

プロスポーツで社会課題解決

- ・SDGsについての理解を深め、分かりやすく伝える
- ・スポーツを通じて多文化交流の場をつくる
- ・ドルフィンズの認知度を高める
- ・バスケットゴールを設置する
- ・ドルフィンズ選手等身大パネルでフォトスポット



B

人 × 多様性 × 活躍

つながりをつくる「にちよくら」

- ・「錦二丁目暮らす」がコンセプト
- ・「多様な人材」と「多様な場」に出会うサロン

異文化も人と場もつながる

- ・店舗などで住民と就労者、留学生などがつながる企画
- ・タイ料理店でSDGsをテーマに異文化理解と交流

暮らしの中にある SDGs

- ・身近な生活で感じる環境問題に取り組む
- ・ひとつのものを大切にする感覚
- ・マルシェに出店するなど「伝え方」を大切にする

経済循環

で話したい人、聴きたい人、つなぐ
証券などへの拡張も可能

SDGs は過去と未来の共通言語

- ・名古屋城下町の中心地であった歴史を未来へ
- ・このまちで生きる91歳から見たまちの暮らし方に、未来へのヒント

C

環境にやさしいライフスタイル発信



まちづくりプロジェクト グループから提起された 目 × SDGs キーワード集

繊維・アップサイクル

- ・大量生産・大量廃棄から、永く使うライフスタイルへ
- ・ツクロウ [ボタンブローチと刺繍・お直し] のブース出店
洋服を楽しく直そう！を合言葉に

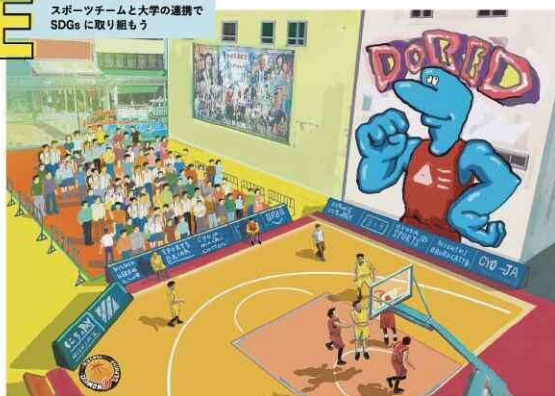
土や緑に関する取り組み

- ・家庭や飲食店などから出る生ごみの削減
- ・生ごみ→土づくり→美味しい野菜の循環
- ・Green & のブース出店
コンポスト体験してもらおう
家庭菜園キットづくりをしてもらおう



E

スポーツチームと大学の連携でSDGsに取り組もう



錦二丁目の良さを活かし、活動を通じて社会貢献する

- ・繊維街の歴史あるイメージの確立
端切れを利用したファブリックパネル
Tシャツ利用したエコバッグ
IMOM（障害がある方の就労移行支援）
製作マスクを活かす
- ・アートを最大限に活かす
錦二丁目の仮設フェンスにアートを描く

Illustration by TOMOTERU NISHIMURA

【会 場】 長島町通（7 番街区再開発地区とVドラッグ錦二丁目店の間）

【日 時】 2020 年 11 月 28 日（土）11:00-16:00
（前夜祭：11 月 27 日（金）17:00-21:00）

【来場者数】 700 名（27 日 100 名、28 日 600 名）

【前夜祭】

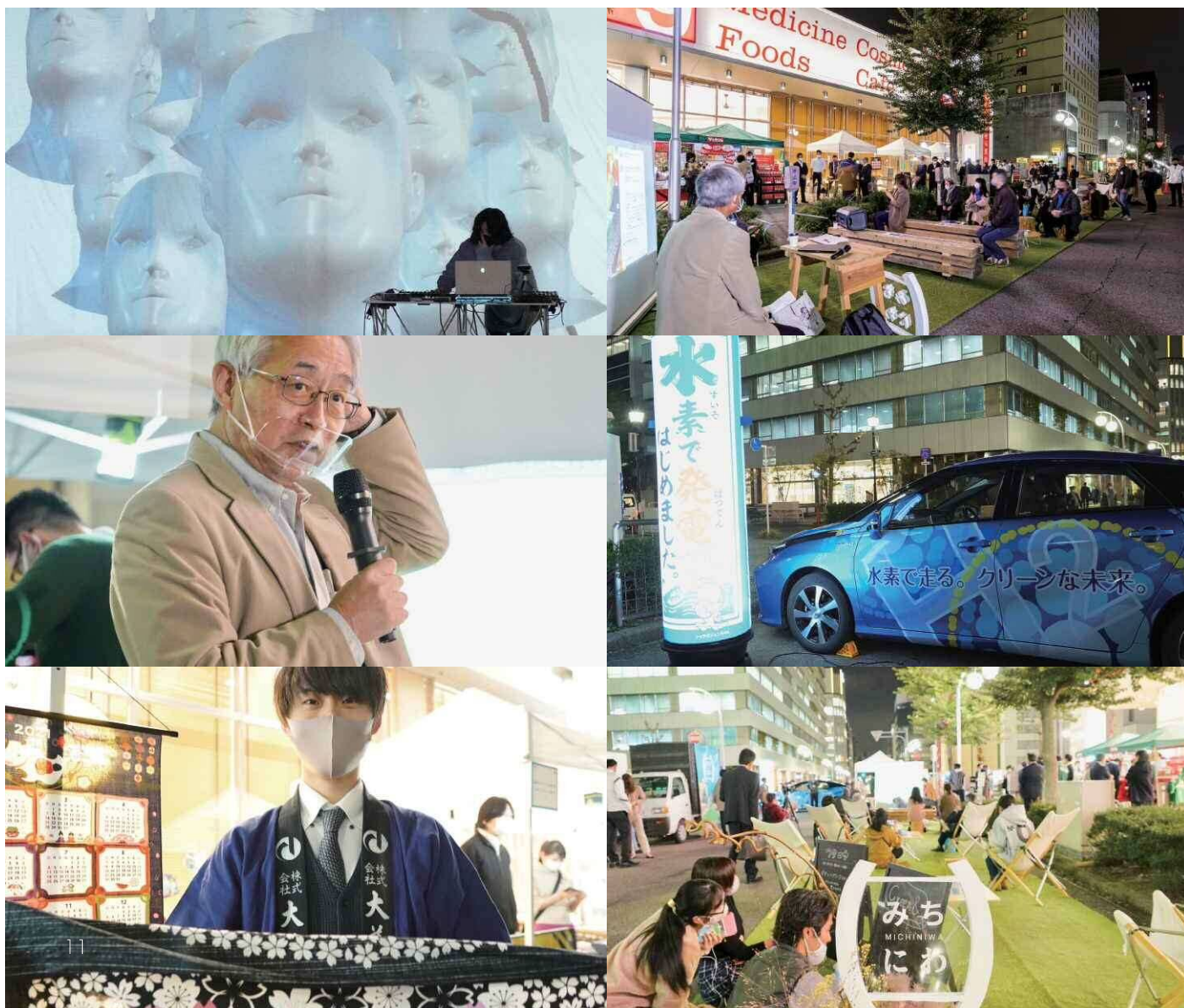
27 日に前夜祭を実施し、トークとインスタレーション、一部ブース出展を行った。

・SDGs やまちについて考えるトークライブ

登壇者：千頭聡（日本福祉大学）、山田卓哉（大ナゴヤ大学）、
名畑恵（錦二丁目エリアマネジメント（株））

・音と光で非日常の空間を演出するインスタレーション

実施団体：I A M A S（情報科学芸術大学院大学）



【出展者】約20ブースが出展（五十音順）

CHOJAMACHIBA、Green&_（CleanGreen、ブラザー工業（株）、
豊田森林組合）、IMOM COFFEE ROASTERS、LIVERAL、M
O-YA-CO UNIQUE PRODUCT!、the chord、TOUTEN B
OOKSTORE、Vドラッグ錦二丁目店、延藤文庫、空色曲玉、長者町ハチミツ&
料亭河文、ツクロウ（CECILIA、スターキャット・ケーブルネットワーク（株）、
ブラザー工業（株）/ブラザー販売（株））、都市の木質化プロジェクト、ネクストミーツ×
錦二丁目エリアマネジメント、ひょうたんカフェ、ファーストステップ、名城大学プ
ロスポートビジネス研究会 with 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、露店喫茶シヤチ
ル×コットンキッチンカー、和装小物の大善、

※ドライフラワーアレンジによる会場装飾 viola

SDGs point

★ワークショップから実践へ（パートナーシップによる出展）

【Cグループ】

“今ある洋服を永く大切に着るためのきっかけづくり”

地域の服飾店 CECILIA を中心としたハギレを活用したボタンブローチづくり体験

- ・ブラザー工業（株）/ブラザー販売（株）提供のミシンによる刺しゅうサービス
- ・スターキャット・ケーブルネットワーク（株）と洋服リフォーム katakoto（カタコト）による洋服のリメイクに関する動画制作と放映

“緑とともにある豊かな生活の提案”

名城大学の環境団体 CleanGreen を中心としたコンポスト体験と販売

- ・豊田森林組合による出展看板・家庭菜園用の木のラベルの作成

【Eグループ】

“スポーツでSDGsに取り組む”

名城大学と名古屋ダイヤモンドドルフィンズによる出展

- ・着なくなったTシャツを活用したエコバッグづくりワークショップ
- ・地域内の就労支援施設 IMOM で作成したマスクにドルフィンズのワッペンを付けるワークショップ
- ・地域で発生したハギレを活用したファブリックパネルづくり

★サステイナブル

- ・食べられる器やスプーンを使用した飲食メニューの提供によりごみの削減
- ・地元繊維問屋による風呂敷販売・ワークショップによりレジ袋削減へ
- ・燃料電池自動車 MIRAI で発電した電気を利用





プロジェクト 2 年目 - アイデアの実証へ -

プロジェクト 2 年目は、1 年目のワークショップで生まれたアイデアを実現し、さらに SDGs の取組みを加速させていく年になりました。協力企業・団体も 1 年目からさらに増え、様々な実証が行われました。

2021年度事業概要

SDGs協働事業の募集

昨年度ワークショップのアイデア等を実現する団体や企業を募集

錦2丁目SDGsWEEKs

錦2丁目がSDGsで埋め尽くされる2週間を展開

コミュニティステーション

緑化等の機能を持つステーションを設置し、交流の場づくりに取り組む

みちにわSDGsマルシェ

持続可能な未来の暮らしをテーマとしたマーケットを開催

自主事業

キックオフセミナー SDGs でえがくまちと企業の未来

会場 オンライン

日時 2021 年 6 月 9 日



プロジェクト 2 年目は、ここから始まりました。第 1 部基調講演では、(株)武田工業所 取締役の曽根 香奈子さんから「SDGs 経営とは？今企業ができ

ること！」と題し、企業が SDGs に取り組むことで広がる可能性を事例を交えて紹介いただきました。第 2 部事例紹介では、名畑さんから 1 年目の報告とマルシェや WEEKs 等 2 年目の取組みの紹介、参加の呼びかけを行うとともに、錦2丁目内の繊維商社 豊島(株)執行役員 / 営業企画室長の溝口 量久さんから、オーガニックコットンプロジェクト「オーガビッツ」等についてご紹介いただきました。第 3 部ディスカッションでは、千頭先生のコーディネートのもと、SDGs を共通言語にまちや企業がどう変化しているか議論を行うとともに、協働事業への応募を呼びかけました。

ショーケース
事業

錦 2 丁目 SDGs WEEKs

日時 2021 年 11 月 6 日 ~ 20 日



錦 2 丁目 SDGs WEEKs
特設 HP はこちら



1 年目のワークショップで提案されたアイデア「まちまるごと SDGs 体験 in 錦2丁目」から実現した「錦 2 丁目 SDGs WEEKs」。地域・企業等が連携して SDGs に関する多彩なプログラムを展開し、錦2丁目が SDGs 色に染まる 2 週間をつくりました。約 50 団体の協力により、22 の企画と 3 つの連携イベントが開催されました。多種多様な企画についてご紹介いたします。

【協力】(株) R-pro

会場 オンライン、TAIYO FLOWER

運営 大ナゴヤ大学

日時 2021年11月6日、13日、18日

体験・セミナー

11



3つの授業を実施。第1回は「SDGsを学び、体験しよう」と題し、WEEKsの見所、錦二丁目の魅力を名畑さんから紹介いただきました。

第2回は「フラワーベースを手作りしよう! 「いないもの」を価値ある物に

する」と題し、TAIYO FLOWERの藤原さんを講師に迎え、普段捨ててしまうペットボトルやプラスチック容器をペイントし、フラワーベースとして蘇らせる「SDGsな花瓶づくり」を実施しました。作成したフラワーベースは、マルシェの装飾として設置しました。

第3回は「『いい街』ってどうやってつくるの? 世界の事例から私の街のことを考えよう!」と題し、for Citiesの杉田さんを講師に迎え、街で生まれるsustainableな取り組みを紹介いただくとともに、参加者を交えてSDGsなグッドなアイデアを出し合いました。

会場 MITTS COFFEE STAND

運営 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課
協力: 一般社団法人 グローバル愛知

日時 2021年11月6日

体験・セミナー

4 8 11 17



1年目のBグループのアイデア「錦二丁目の多様な人材と多様な場に出会うサロン」にちょくら”(錦二丁目にくらす))をもとに実現した企画の1つです。

1年目のワークショップ参加企業の凸版印刷(株)とグローバル愛知を中心に、地域のカフェで国際交流会を開催しました。タイ、ベトナム、ケニアの3人の留学生をゲストにむかえ、母国の食べ物や風景等の親しみやすい話題から、日本の生活で日本人との交流に課題を感じていることについて伺いました。参加者からは、ゲームや料理等、一緒に楽しんで交流できる活動があると、より交流が深まるのでは、との意見がありました。

会場 常瑞寺を中心とした長者町界限

運営 一般社団法人 日本体験学習研究所

日時 2021年11月7日

体験

4 11 13 15 17



ネイチャーインタープリター（自然案内人）の鳥屋尾健さん（やっさん）と、錦二丁目のまち中を、人と自然が交わり、場所を探しながら歩く環境学習イベント

を開催しました。まちの会所である常瑞寺に集合し、まちの歴史や地域で取り組んでいるコットンプロジェクトやハニカム計画等の話を伺ってから、まち歩きがスタート。まち中にある植物（人工的に植えられているもの、雑草のようなもの）をスケッチしたり、自然をデザインしたもの、おもしろい形の葉っぱ、ビルの壁に残る過去に隣接していた建物の跡などをご紹介いただきました。また、参加者がそれぞれの視点でまちを見ることで、壁画アートが描かれている壁の割れ目から生えている植物、マンホールに描かれたアメンボ等、様々な発見がありました。

[人と人、人と場所をつなぐ 3つのゼミ]

屋上菜園をはじめ食用緑化を広げることで、持続的な都市部の街おこしを学ぶ〜錦二丁目地元事業者バージョン〜

会場 ゴダワリカフェ&レストラン

運営 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課
協力: Godavari Cafe_ & Restaurant

日時 2021年11月13日

体験・セミナー

4 12 13



1年目のBグループのアイデア「錦二丁目の多様な人材と多様な場に出会うサロン」にちよくら”(錦二丁目にくらす)をもとに実現した企画の1つです。会場のネパール料理店「ゴダワリ」の店主

で農学博士のアスタさんから、都市農園や屋上菜園の魅力を伺いました。屋上菜園が盛んなネパールでは、屋上菜園で食用緑化を広げ、都市部の街おこしにつながっていると説明がありました。また屋上菜園には、癒しや雨水保全効果、コミュニティ活動の活性化、農業を身近に感じる機会の提供といったメリットがあり、農福連携で取り組む錦二丁目の屋上菜園「糸びす菜園」も交えながら名古屋の屋上菜園・緑化がまちにもたらす可能性をお話いただきました。ネパール料理を食べながら参加者同士の交流が深まりました。

会場 長者町コットンビル 1F

運営 365 wishes 長者町コットンプロジェクトチーム

日時 2021年11月19日～11月28日

体験・展示

12 15



錦二丁目で活動しているアーティストの神村さんを中心に、地域で育てた綿花栽培の記録・資料展示、ファクトリエ（リサイクルコットン製品製造）およびオーガビッツ（オーガニックコットン製品製

造）の紹介、綿花をモチーフとしたアート作品のインスタレーションなどを行いました。また、ガーデナーのトークイベント（メイガーデンズ柵山直之氏）、糸紡ぎ体験ワークショップ（木綿蔵ちた、尾張もめん伝承会）を開催し、愛知の繊維産業の歴史に関する学びの機会となりました。地区内の繊維商社の豊島（株）から、オーガニックコットンに関する展示協力、ワークショップ用の糸繰機の機材協力をいただきました。今後、綿の種を持ち帰った参加者が、この活動に関わることで、取り組みの輪がさらに広がっていく可能性があります。

会場 オンライン・マルシェ

運営 長者町スクール・オブ・アーツ

日時 2021年11月19日

展示

4 5 6 11 12 14



錦二丁目の公共トイレがなくなったことをきっかけに、SDGsの6番「安全な水とトイレを世界中に」を踏まえ、街中の公共的なトイレを扱ったテーマとしたインターネット番組「ART FARMing TV スペシャル「世界のトイレから」」を制

作しました。世界各国のゲストから、各国のトイレ事情を話していただいたほか、トイレの美術史から社会を見るなど、アーティストの視点で世界の「まちのトイレ」のリアルを見聞し、公衆トイレの在り方について考える番組となりました。またマルシェで、来場者から錦二丁目のトイレ事情やトイレにまつわる体験を聞くワークショップを開催しました。「男性トイレにおむつ台がない」「車いすに対応したトレイがない」等、ジェンダーやユニバーサルに関する意見、利用者のトイレマナーの向上等必管理者側の意見等、様々な意見が見られました。

会場 マルシェ

運営 Clean Green

日時 2021 年 11 月 20 日



1 年目の C グループから発展して実現した企画です。1 年目のマルシェで販売したコンポストから、室内になじむデザイン、継続性、手軽さ等の視点で改良を

重ね、一日約 50g ごみを投入でき、臭いを防ぐため密閉できるとともに、堆肥化後家庭菜園の鉢にできるコンポストを制作し、マルシェにおいて展示・体験・販売を行いました。実際に体験いただくことで、臭いも気にならず、気軽に始められること、楽しみながら環境保全活動に日常的に取り組めることを紹介し、マルシェを訪れた方一人ひとりが、家庭内のごみの削減について考え、取り組むきっかけを提供しました。その他、環境問題について子どもたちにもわかりやすく伝える絵本も制作し、販売を行いました。

会場 マルシェ

運営 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社

日時 2021 年 11 月 20 日



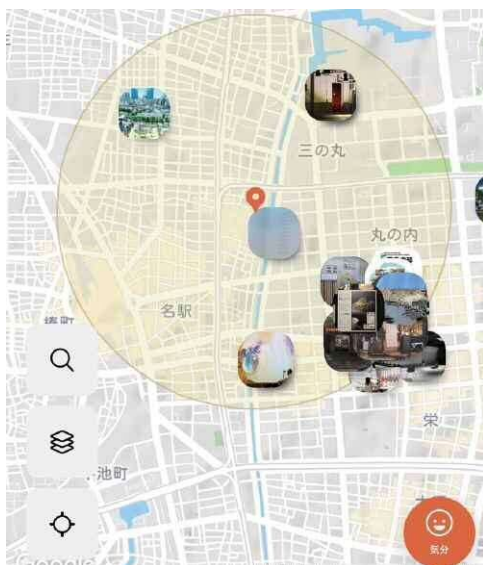
1 年目の E グループのアイデア「錦二丁目にバスケットゴールを設置する」をもとに実現した企画です。年齢・性別・国籍を問わず楽しみながら交流できる場

をつくるため、マルシェの会場にバスケットゴールを設置し、クイズで楽しく SDGs を学びながらシュートにチャレンジする「シュートチャレンジ×SDGs クイズ」を実施しました。錦二丁目にゴールが出現し、街中でバスケットをする風景が生まれ、また子ども用ボールも設置し、小さなお子さんにもバスケットを体験し、SDGs を知るきっかけを作りました。また、1 年目に引き続き、不要になった T シャツを活用したエコバッグづくりワークショップも行い、誰でも簡単に非常時でも即席でバッグを作成できる方法を周知しました。



伏見ミリオン座前やマルシェ会場にシェアサイクル「チャリチャリ」の臨時ポートを設置し、環境負荷の低い交通手段の提案や周辺会場・連携イベントとの回遊性向上に寄与しました。また、アプリ

NOSPOT(株) NewOrdinary、協働事業の取組)との連携やマルシェのブース出展を通じて、シェアサイクルの普及促進を図りました。さらにマルシェとSDGsを学べる施設がある伏見ライフプラザをつなぎ、回遊性向上を図るため、伏見ライフプラザ前の道路に臨時ポートを設置しました。公道にポートを設置するという名古屋初の実証となりました。本実証をきっかけに、伏見ミリオン座へのポートの本設置につながり、収益の一部がまちづくりに還元される仕組みづくりにつながりました。



WEEKs とマルシェにおいて、利用者の嗜好性に合わせてイベントやまちの魅力

スポット・行き方を提案してくれるAIレコメンドシステム「NOSPOT」により、レコメンドマップを作成しWEEKsのHPへ掲載しました。シェアサイクルチャリチャリ(株)neuet、協働事業の取組)とも連携し、WEEKsの各プログラムや錦2丁目の飲食店等のスポット、連携イベント間の回遊性向上を図りました。複数のイベントをつなぐことで、単独のイベントだけでなく、その他のイベント・会場周辺のスポット利用につながり、複数の主体が連携し協働で取り組むことにより、効果的なイベントの開催につながりました。

会場 マルシェ、V ドラッグ錦二丁目店

日時 2021 年 11 月 19 日 ~

運営 サンエー電機株式会社

7 8 11 12 17



安心安全と憩いを提供するスマートベンチの実証を行い、まち中で求められるベンチの検討とベンチを通じた SDGs の取り組み発信を行いました。錦二丁目内の V・ドラッグ錦二丁目店前に太陽光で充電し

た電気を使用した LED 付のベンチを設置し、マルシェにおいてベンチの利用者の方々にベンチと SDGs のつながりの発信とデザインや照明の明るさ、機能など利用したくなるベンチについてアンケートを実施しました。アンケートでは、充電システム、Wi-Fi、防災などの備蓄機能を求める声があり、まち中でのベンチの可能性を考える実証となりました。また、都市の木質化プロジェクトで設置している木のベンチへの照明設置の提案など、既存の地域の取組との連携の可能性も見えてきました。

会場 野村不動産レジデンスサロン錦二丁目

日時 2021 年 11 月 27 日

運営 凸版印刷株式会社中部事業部 公共開発課

体験・セミナー

4 8 11 17



1 年目の B グループのアイデア「錦二丁目の多様な人材と多様な場に出会うサロン」にちょうら(錦二丁目にくらす)をもとに実現した企画の 1 つで、錦二丁目の 16 街区のイメージをもとに SDGs をテーマとしたスゴロクづくりワーク

ショップを開催しました。SDGs の 17 個の目標に対し、錦二丁目のフィールドと市民・生活者目線での活動・行動を考え、3 つのオリジナルのスゴロクを作成・体験。「パートナーシップで他の人を 2 マス進められる」「錦二丁目であらゆる色んな国の人々との国際交流会を実施」等のマスが作られ、スゴロクを通して SDGs を考えるきっかけとなりました。また、会場として、今後のまちづくりの拠点となる 7 番街区再開発のモデルルームである野村不動産ギャラリーをご提供いただき、地域内外の企業・店舗等の協働による取組となりました。

協力企画 ようこそ！ EPO 中部へ

会場 環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)

運営 環境省中部環境パートナーシップオフィス

日時 2021 年 11 月 8 日～ 12 日

体験・展示

1 ~ 17



8 日に SDGs チェックリストを活用した「スモールゼミ SDGs」を開催しました。【【インプット】SDGs とは、意義と特徴【ワークショップ】あなたも SDGs につながっている（講師：原理史氏）】また 12 日まで施設内に SDGs 関連資料がある SDGs コーナーを設置しました。

協力企画 ハロフェス 2 1 ～ハロワで発見 SDG s！？～

会場 ハローワーク名古屋中

運営 愛知労働局・ハローワーク名古屋中

日時 2021 年 11 月 11 日、19 日、WEEKs 期間中

セミナー・展示

5 8



「働く」という視点から SDGs について考えるきっかけを提供しました。11 日に「人と会社を結ぶ SDGs 入門編」、19 日に「女性活躍推進法とは」をテーマにしたセミナーや施設 1 階エントランスにて WEEKs 期間中に SDGs に関する展示と 20 日のマルシェに SDGs につながる周知広報とイメージキャラクター「ハロママ」による PR を実施しました。

協力企画 アップサイクル・デザイン・ワークショップ+トーク

会場 長者町コットンビル 1F

運営 ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 / なごや環境大学

日時 2021 年 11 月 14 日

体験・展示

4 8 11 12 16 17



使われなくなった丸椅子を、自らの手で解体から張りなど制作を通じて、Baton stool にアップサイクルする体験ワークショップと、河西桃子氏（(株) モノファクトリー）と服部隼弥氏・那須裕樹氏（Bouillon）によるアップサイクルの現状と未来についてトークイベントを実施しました。

協力企画

日本銀行名古屋支店 見学特別プログラム ～お札の一生について～

会場 日本銀行名古屋支店

運営 日本銀行名古屋支店

日時 2021年11月18日、19日

体験

4 8 12



WEEKsにあわせて日本銀行名古屋支店の見学特別プログラムを実施しました。印刷から廃棄までの「お札の一生」、お札の秘密やお金のマメ知識、日本銀行の機能と組織、名古屋支店の歴史等や日本銀行とSDGsとのつながりについて紹介しました。

協力企画

でんきの科学館でSDGsを学ぼう

会場 でんきの科学館

運営 中部電力株式会社

日時 2021年11月6日～20日の土日

展示・体験

7 13



SDGsに関連した展示物や実験ショーを通じて、エネルギーや環境について学ぶ機会を提供しました。でんきの科学館は、SDGsに関わる取組等について、パネル展示やワークシート等で学ぶことができる施設「SDGs フィールド」の1つです。
(<https://www.n-kd.net/sdgs/field/>)

自主企画

錦2丁目SDGsWEEKs 情報ステーション

会場 長者町コットンビル

日時 2021年11月6日～20日



錦2丁目SDGsWEEKs開催期間中に、地区内の長者町コットンビルにて情報ステーションを設置し、SDGsやまちづくりの理解を深めるための情報発信、アンケート収集などを行いました。

自主企画 まわって学ぼう！SDGs スタンプラリー

会場 伏見ライフプラザ・マルシェ

運営 名古屋市

日時 2021年11月6日～11月20日

体験 10 12 13 14 15 16



伏見ライフプラザにある4つの施設（環境学習センターエコパルなごや、なごや人権啓発センターソレイユプラザなごや、名古屋市消費生活センター、名古屋市 中消防署）とマルシェをまわってSDGsを学びながらスタンプを集めるコラボイベントを実施しました。

自主企画 錦二丁目まちあるき

会場 錦二丁目内

運営 錦二丁目エリアマネジメント株式会社

日時 2021年11月9日、16日

体験 11 17



錦二丁目の知られざる魅力を紹介するまち歩きを開催しました。アーティストが集う長者町コットンビルから始まり、壁画アート、古ビルをリノベーションしたえびすビル、福生院、人気のカフェ、木質化のベンチ、逆走防止のための道路の白線等。新旧混ざり合うまちを歩き、まちについて考えるイベントとなりました。

自主企画 A VINTAGE BATON vol.2

会場 豊島株式会社 会議室

運営 A VINTAGE BATON

日時 2021年11月19日、20日

体験 12 13



人気店による古着マーケットと着なくなった衣類同士を思い出と共に交換するプロジェクトを開催しました。着なくなった服を持ち込むと、サステナビリティに関心を持つアパレル関係者から回収した服と交換でき、持ち込んだ服は別の誰かに交換され、服を捨てずにオーナーを繋いでゆくプロジェクトです。

連携イベント streaming heritage 2021 autumn 台地と海のあいだ

会場 名古屋城エリア、納屋橋エリア、熱田・宮の渡しエリア

日時 2021年11月12日～28日

運営 なごや日本博事業実行委員会



名古屋城エリア(名古屋能楽堂 四間道)、納屋橋エリア、熱田・宮の渡しエリアの各会場にて、アーティストによる作品展示やパフォーマンス、トークイベントなどが開催されました。普段は一般公開していない指定文化財を展示会場としていところも見どころ。名古屋の新たな魅力を現代アートによって発信しました。

連携イベント 第2回 SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内

会場 名古屋東京海上日動ビルディング 等

日時 2021年11月19日～2022年2月18日

運営 東京海上日動火災保険株式会社



東海北陸エリアにおけるSDGsの気運醸成を図り、自治体・企業等との連携強化に取り組むために、名古屋市の丸の内エリアにて「SDGs テラス」を開設し、企業や自治体のSDGsの取り組みを紹介するパネル展示やブース展示、「SDGs まつり」やセミナーなどが開催されました。

連携イベント Nishiki-2 SDGs 映画祭

会場 伏見ミリオン座 他 名古屋市中区錦二丁目界隈

日時 2021年11月6日、7日、9日、12日、13日、14日、18日、19日、20日

運営 スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社



SDGs まちづくりプロジェクト in 錦二丁目のワークショップがきっかけとなって企画され、名古屋市・錦二丁目のまちを中心に、映画を通じてSDGsについて学び、考える映画作品の上映やトークイベントが計6会場・9日間開催されました。以下、錦二丁目エリアマネジメントと連携の元まちなか会場で行われた3イベントを紹介します。

1 生産者との協働と究極のコーヒーを考えるトークセッション

会場 THE CUPS FUSHIMI

日時 11月13日(土) 13:00～15:30

映画 ア・フィルム・アバウト・コーヒー

トーク 古賀聖啓氏×阿部充朗氏

8 12



映画『ア・フィルム・アバウト・コーヒー』はコーヒーに人生をかけるプロフェッショナル達のドキュメンタリーです。上映後は古賀聖啓さんが「NPO コーヒー生産者と協働する会」の活動を紹介するとともに、同 NPO のコーヒーを CUPS の協力の元提供しました。その後映画にも登場したコーヒー生産者を zoom でつなぎ、錦二丁目でコーヒースタンドを創業した阿部充朗さんも交えトークセッションを行いました。

2 自足、自立する小さな地域とは

会場 THE CUPS FUSHIMI

日時 11月13日(土) 16:30～19:00

映画 ハッピー・リトル・アイランド

トーク 澁澤 寿一氏×名畑恵氏

10 11 12 14 16



映画「ハッピー・リトル・アイランド」は、若者の移住先での奮闘を描いています。上映後は農業・循環型まちづくりで国内外で活躍する澁澤寿一さんによって、映画に登場するお年寄りたちや日本の山村にも共通する、厳しい環境の中でも満ち足りた幸せな生き方について、紐解いていきました。

3 宇宙でもできる農業 “宙農” TOWING

会場 IMOM SPACE

日時 11月14日(日) 16:30～19:00

映画 ビッグ・リトル・ファーム

トーク 西田宏平氏 (TOWING)

8 15



映画『ビッグ・リトル・ファーム』は、自然を愛する夫婦が夢を追う8年間の奮闘を描いています。上映後は、錦二丁目で次世代人工土壌を用いた都市型農福連携実証事業を開始した株式会社 TOWING の西田宏平さんのトークと共に、実際に実証事業で収穫したハーブを使ったサンドイッチを提供しました。

ショーケース事業

錦二丁目 SDGs MAP



錦二丁目の SDGs の取組みを可視化し、地域の魅力として発信するため、ためまっぷ ((株)ためま) と連携し、錦二丁目の SDGs スポットを募集、ウェブマップ上に投稿のあったスポットをマップピングして「錦二丁目 SDGs MAP」を

作成し、広く発信を行いました。募集にあわせて、ワークショップを実施し、SDGs スポットの投稿レクチャーと地域の魅力となるような錦二丁目の SDGs スポットを共有しました。木のベンチやシェアサイクルポート、道端や店先にある草花に加え、地域の企業・団体・飲食店の SDGs の取組みの紹介など多種多様な錦二丁目の SDGs がウェブマップで紹介されました。

会場 設置場所 錦二丁目 長島町通り
 (「錦通長島通」交差点～長島通・袋町通交差点まで)

日時 2022年1月31日までの3か月間

錦2丁目SDGs WEEKsの開催を皮切り2022.1.31(月)までの3か月間、SDGsの公共広告として地上機器5基にラッピングをしました。まちがSDGs色になる風景をつくることを目的とし、長島町通りに連続して設置しました。本来地上機器は、まちの景観を維持するために広告を掲示したり表示することが原則禁止されていますが、今回はまち全体でSDGsを普及展開するプロモーション活用として認められ実施しました。デザインは町内会やまちづくり協議会で意見をつのりました。ラッピング前には落書きをされたものもあったため、開始し

てみると、景観が向上したとして、地域の方々には高評価をいただきました。また、協力企業からも「次もチャンスがあれば参加したい」という声をいただいています。

錦2丁目には150基ほどの地上機器があります。今後の展望としては、景観向上やシティプロモーションにつながる広告事業に育てられる可能性があります。収益を、歩道植栽や休憩施設などの整備に生かせば、小さな経済・社会・環境の循環を公共空間で仕掛けることにつながります。

【企画】

錦二丁目エリアマネジメント株式会社

【協力】

- ・豊島株式会社
- ・株式会社日本トリム
- ・中電興業株式会社
- ・大日本コンサルタント株式会社
- ・R-pro



場所 錦二丁目7番地区再開発南側歩道上

竣工 2022年3月15日

公共空間に環境やコミュニティの助けとなる休憩施設を設置しました。グリーンインフラからグリーンインフラへ展開していくはじめの一步と位置付け、比較的街路樹が多く、今後まちの拠点が設置される7番地区再開発エリアに隣接したスポットを選定しました。元ある植栽帯を巻き込むデザインとし、光と水を透過するパンチングメタルで製作、足元にはプランターを設置しました。土壌には火力発電所において、石炭を燃焼させた際に出る灰を利用したリサイクル土壌を使用

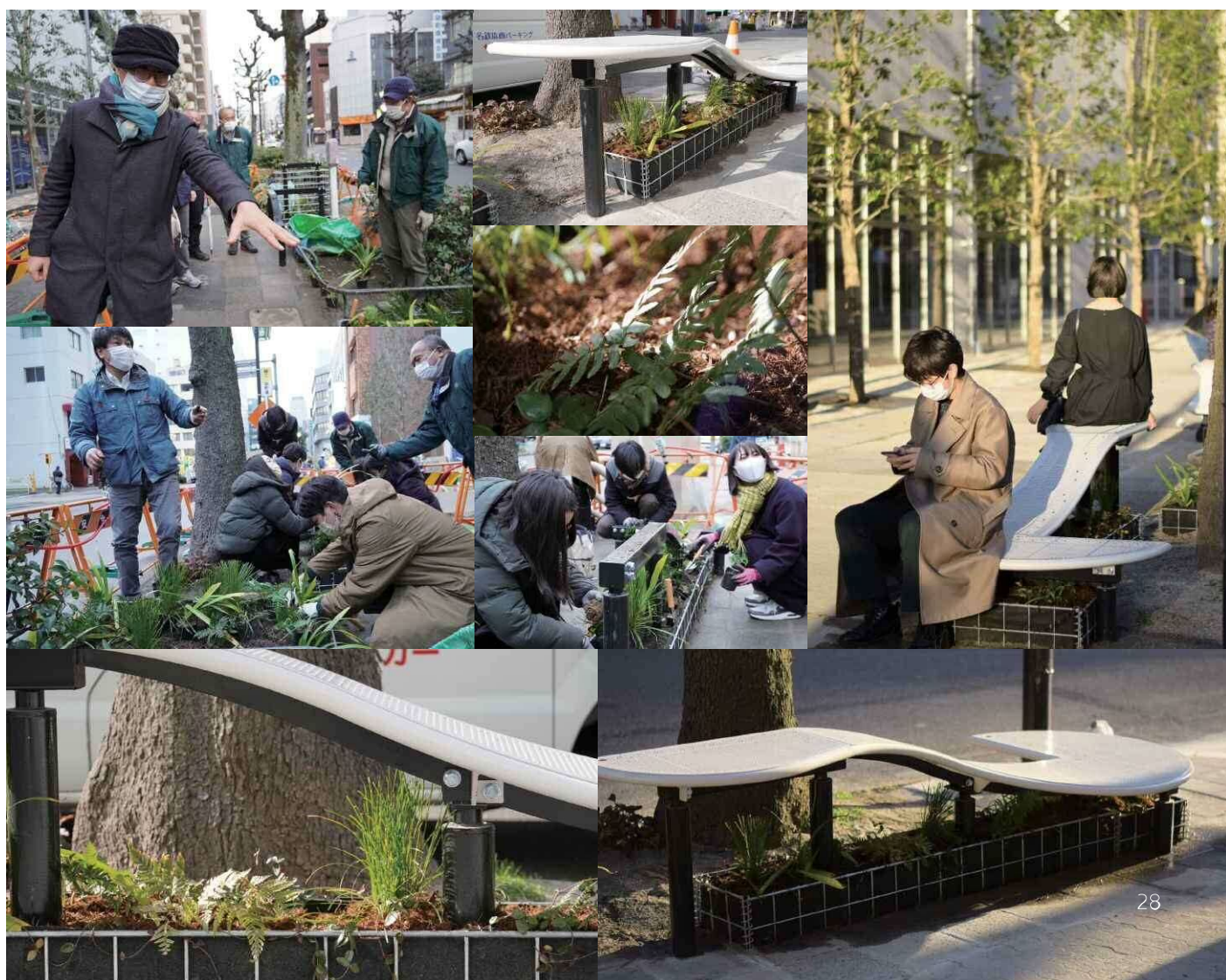
しています。植物の植付は地域の参加型で行い、管理も地域で行っていく体制としました。

【企画】

- ・錦二丁目まちづくり協議会公共空間部会
- ・錦二丁目エリアマネジメント株式会社

【協力】

- ・名古屋市立大学芸術工学研究科大野研究室
- ・大日本コンサルタント株式会社
- ・大島造園土木株式会社
- ・株式会社マウンテック



昨年度に続き錦二丁目内の道路を活用し、SDGsが描く未来の暮らしを体感できるマルシェを開催しました。

【会 場】 長島町通(7番街区再開発地区とVドラッグ錦二丁目店の間)

【日時】 2021年 11月 20日(土) 11:00-16:00
(前夜祭: 11月 19日(金) 17:00-20:00)

【来場者数】 2,500名(19日 400名、20日 2,100名)

会場規模を
前年の約 2 倍に拡大

【前夜祭】

19日に前夜祭を実施し、トークとインスタレーション、ブース出展を行いました。

・前夜祭トーク

登壇者: 千頭聡(日本福祉大学)、堀田勝彦(錦二丁目まちづくり協議会)
名畑恵、森田紘圭、阿部充朗(錦二丁目エリアマネジメント(株))
岡本ナオト、キタハラトモヒロ((株) R-pro)、山田卓哉(大ナゴヤ大学)

・NxPc lab

クラブやライブ空間における体験の拡張をテーマに IAMAS(情報科学芸術大学院大学)を中心に活動するプロジェクト

・SDGs ILLUMINATION 2021

椋山女学園大学の学生が制作したイルミネーションで会場を彩りました。

【協力】 大ナゴヤ大学、(株) R-pro



【出展者】 約30ブースが出展(五十音順)

CHIC・・・! YOUNG CLOTHING STORE、CHOJAMACHIBA弁当、every denim (ITONAMI)、For シティーズ、Green & _ (CleanGreen)、LIVERAL、LULU MAKANA MO-YA-CO UNIQUE PRODUCT!、noix(ノワ)、NOSPOTによる錦二丁目の回遊レコメンド、NPO法人 motif、NUNOUS[ニューノス]、Okazaki Micro Hotel ANGLE、the chord、TOUTEN BOOK STORE、Vドラッグ 錦二丁目店、μ's Rawell、アジア車いす交流センター、ゴダワリ カフェ&レストラン ソーラー照明付きベンチ(Engawa えんがわ)、チャリチャリ、長者町スクール・オブ・アーツ、ちろり家、ツクロウ by CECILIA、錦二丁目都市の木質化プロジェクト、パーラーイムオム、ひょうたんカフェ、ポポダモン、レッツ・コーポレーション、和装小物の大善、ゑびす菜園、河文 & ハニカム計画、海洋プラスチックアクセサリー sobolon、吉田商事、山の花 山陽製紙(株) 思考するポタニカルブランド Verseau、勝川ランドリー(Save the Ocean)、八木兵、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ(株)

SDGs point

★パートナーシップによる連携イベントの開催

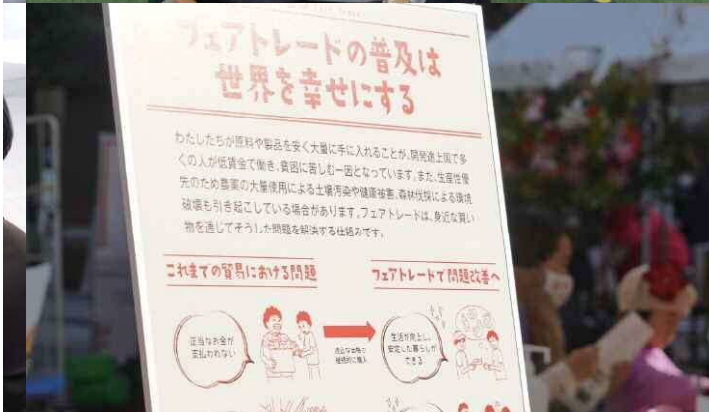
マルシェにあわせて錦二丁目内で多様な主体による様々なイベントを開催

- ・長者町コットンプロジェクト(コットンビル) / 365wishes 長者町コットンプロジェクトチーム
- ・A VINTAGE VATON vol2 (豊島ビル)
- ・ハロフェス 21 (ハローワーク名古屋中) / 愛知労働局・ハローワーク名古屋中
- ・Nishiki-2 SDGs 映画祭(伏見ミリオン座) / スターキャット・ケーブルネットワーク(株)
- ・でんきの科学館(でんきの科学館) / 中部電力(株)
- ・SDGs スタンプラリー(伏見ライフプラザ)
- ・第2回 SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内(東京海上日動ビル) / 東京海上日動火災保険(株)

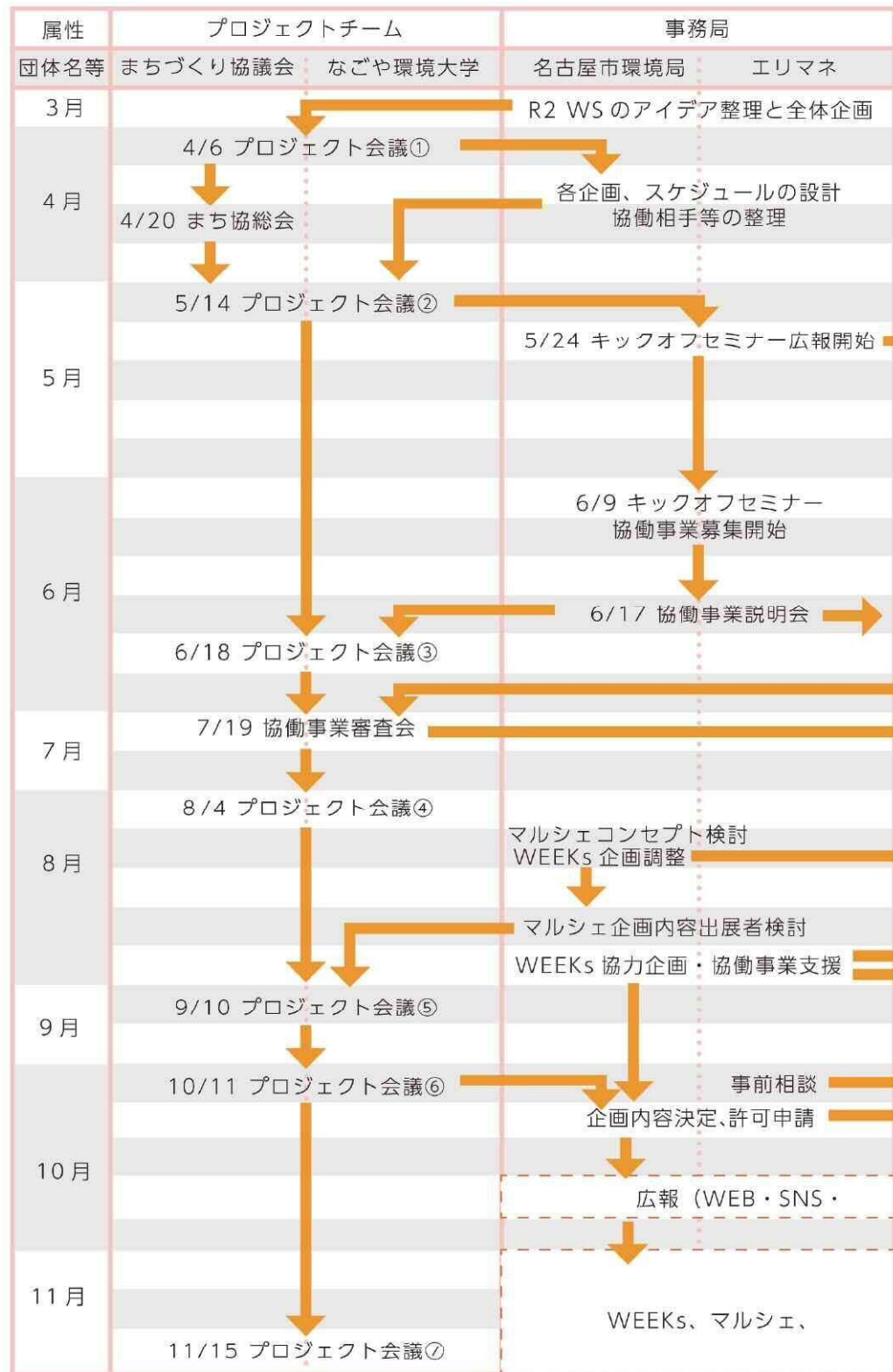
★サステイナブル

- ・錦二丁目のビル屋上で採れたハーブやはちみつを使ったメニュー提供・菓子販売
- ・地元外国料理店による手作り雑貨等の販売
- ・県産木材を使ったアクセサリー作り
- ・地元繊維問屋による風呂敷販売・ワークショップによりレジ袋削減へ
- ・燃料電池自動車 MIRAI で発電した電気を利用





2021 マルシェ・WEEKs 実施に向けたアクティビティ図



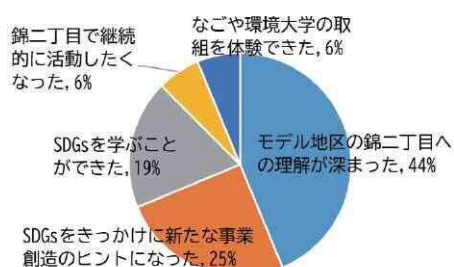
協働先		参加者	調整先	
協働事業団体	地元企業・団体	市民・企業等	行政関係	地域（町内会）
				3/30 挨拶まわり
メール、WEB から情報取得				広報 (町内会閲覧・店舗)
キックオフセミナー参加				
説明会参加、応募				
協働事業の決定				
実施立案				8/25 進捗報告
事前相談受付				10/8 マルシェ会場 町内会調整
実施詳細決定				10/13 町内会長 説明
メール・プレスリリース)			申請受理・認可	10/28 広報 + アンケート配布
協働事業、協力企画実施				

作成協力：名古屋工業大学産業戦略特別履修コース

2020 年 まちづくりプロジェクト ワークショップ参加者 アンケート

【ワークショップに参加した効果】

参加者の多くが、SDGs及びフィールドである錦二丁目地区への理解が深まったことが見られます。



【ワークショップ参加者の声】

- 交流が生まれたことが、チーム活動を行った最大の意義であるように感じた
- 内容よりもこういった「考えて実行すること自体がサステナブルなまちとすることあたり大きいことだと感じた
- 他チーム含め、学生の働きが街（社会）を変える大きな力になりそうと気付けた、学生が街と共に関われる機会を大人（住民や会社）が作っていい
- まちづくりは、住民や地元事業所だけでなく、様々な企業や団体が取り組める可能性があると感じた
- 各グループにおいて、人や場所との新しいつながりをきっかけに、これまでに無いアイデアが噴出したように感じた
- 従来からある地域課題が、SDGs という視点で考え、語ることで、新しい切り口や展開、仲間が増える可能性を感じた

- SDGsの観点からさらに再度何がアプローチできるか考えるきっかけになった

2021 年 錦 2 丁目 SDGs WEEKs 企画者アンケート

- 改めて SDGsへの関心が高まりました
- 施設を知らない人にも来館いただくことができた。
- 地域住民の SDGsに対する関心が高いことを、イベントに参加して肌を感じられた。
- 取組みについて、一般の方々に知っていただく良い機会となった。
- 新たなチャレンジになった。
- この様なイベントに参加することがなかったため、良い機会をいただいた。
- 地域の持続性と関わる人達のコミュニケーション活性化に貢献できた。

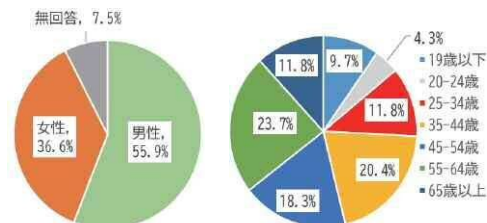
また自社の新しい取り組みとして実績化できた。

- 街に開いたイベントでよかった
- 新たな共感者を生み出した
- SDGsにまつわる活動をしている地域の方々とのつながりが得られると今後も継続して企画を実施することができると考えております。
- コロナ禍ではありますが、マルシェも人出があり賑わっていたと思います。今後も引き続きこのようなイベントを通じて、地域住民や各企業への PR を行っていたきたいと思いました。まだまだイベントを「知らない」方々もいらっしやると思いますので、とても良い取り組みをもう少し広域に PR していくといいかなとも感じました。

2021 年 みちにわ SDGs マルシェ 参加者アンケート

【参加者の属性】

- 男性が全体の 55.9%と女性よりも多くなっています。
- 年齢は 55-64歳が 23.7%と最も多くなっていますが、全体として多世代の方が来訪いただきました。

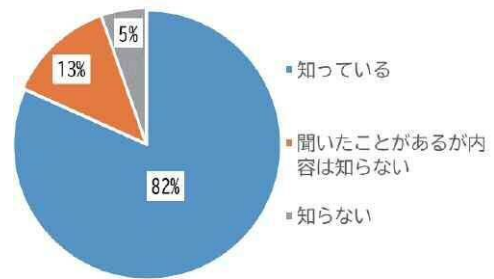


錦 2 丁目への来訪頻度は、「初めてきた」方が全体の 38.7%と最も多く、「2-3 回来たことがある」22.6%と合わせると、全体の約 6割の方がマルシェ参加のためにわざわざ錦 2 丁目を訪れたことがわかります。つまり、マルシェ開催は多くの新たな来訪者を引き寄せる効果があることを示しています。



【SDGsの認知度】

全体の 81.7%が「知っている」と回答されており、SDGsの認知度は非常に高いと言えます。



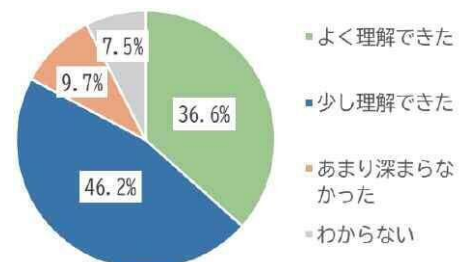
【関心のある SDGsのゴール】

全体の 41.9%の方が「1.貧困」を挙げています。「4.教育」「3.健康」「6.水」「11.都市・コミュニティ」も 3割以上の方が関心があると回答され、全体として幅広いゴールに関心を持っています。



【マルシェを通じた効果】

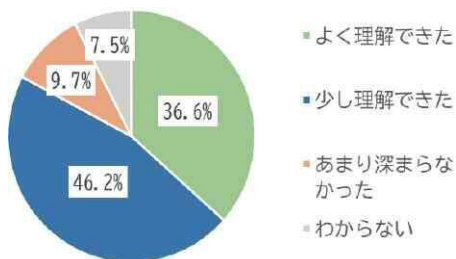
マルシェを通じた SDGsの取り組みへの理解については、全体の 36.6%が「よく理解できた」と回答され、「少し理解できた」46.2%を合わせると全体の 8割以上の方が理解を深めたと回答され、マルシェ開催の効果を示しています。



SDGsの目指す未来や取組については、全体の 43.0%の方が「よく感じた」と回答されており、マルシェという形態が、都市の未来像を伝えるうえで有効な手段であることがわかります。

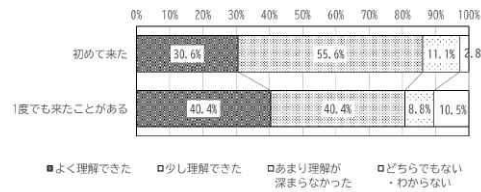


SDGs達成に向けては、自分でもできることが「色々ある」と回答いただいた方が 54.8%過半数を占め、「少しある」37.6%を合わせると、参加者のほとんどが自分との関わりを意識していただいたことがわかります。

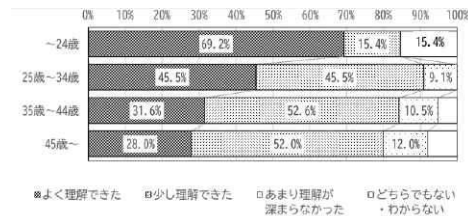


8割以上の方がマルシェを通じて、SDGsを「よく理解できた」「少し理解できた」と回答され、SDGsの周知に一定の効果があったことがわかります。

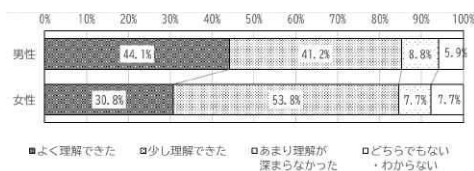
・「錦2丁目に1度でも来たことがある方」は、「初めて来た方」よりもSDGsに対する理解度はやや高くなっています。これは、昨年度のマルシェや今年度のSDGs Weeks開催の効果でもあると推測されます。したがって、マルシェなど一定の集客があるイベント開催がSDGsの普及啓発に効果があることがわかります。



・年齢別でみると、24歳以下の方は、理解度が非常に高くなっていますが、年齢が上がるほど理解度はやや低くなっています。マルシェを地域のイベントとして次年度以降も開催するなどにより、働く年齢層に対する継続的な働きかけが必要です。



・性別で見ると男性の方がやや理解度が高い結果となっていますが、大きな差はありませんでした。



【マルシェ参加者の声】

○マルシェについて

・フェアトレードにもっと取り組みたいと思いました。・もっと学べたり勉強できたりするブースや、日常的に取り組めることを紹介するブースがあったらいいなと思いました。買うだけ、食べるだけでも接することがないよりはいいけど、もっともっとたくさんの人にSDGs

に取り組んでももらいたいと思うので、次回は是非！お願いします。・如何に継続出来るかが鍵だと思いますので、これから応援します。・各出店者がそれぞれの活動に思いを持ってされてることがよく伝わりました。・まずは今どんなことが問題として起きているのかニュースなどをよりよく見て知ろうと思った。・若い年代の人のエネルギーを強く感じます・まだ知らない取り組みをされている企業さんがあり、選択の幅が広がりそうです。・意外な物が再生可能と、きき驚いた・ここに来るまで知らなかった。もっと宣伝した方が良かったと思った。

○錦二丁目の印象について

- ・活気が出てきた・未知の可能性
- ・新しいものと古いものに会えるまち
- ・魅力的な店がある・古いものと新しいものの融合、交流ができる場
- ・もっと寂れた印象を持っていたが意外に元気・一体感がある。・まだまだ発展できそう・問題提起を楽しい形でされているなと思った・魅力的な飲食店が豊富。魅力的な人が多い。・問屋街というイメージで、一般の人はちょっと来づらいかと思っていた・寂しい雰囲気・雑多、混沌、居心地の良さ
- ・昔の雰囲気もあり街中なのに静寂
- ・お洒落な雰囲気・このような場所何あるとは知らなかった・新しい建物やお店ができたり、街の賑わいが生まれてよいと思うが、街の歴史やアイデンティティーを生かしたまちづくりが課題だと思いました。・人、車、サラリー、定期的な交流の場やワークショップなどの開催が

無い。・オフィス街で働く人が、ランチを食べる場所・新しいお店も増えていて楽しいです・歩くだけでも楽しい・色々なとりくみがあることをお散歩しながら、見て知って考えられるところ

- ・SDGs・歴史、趣の深い街 飲食店が多い・土日はこういった催しをして欲しい。SDGsのメッカにしては。又はシンボルエリアにしては。・ふだんは問屋街なのにその変化が興味深い・おしゃれな店が多い・すごくよいと思います。益々の企画や発展期待してます
- ・久しぶりに来ましたがあちこち変わっており驚きました。活気が出てくれるとうれしいエリアです・飲み屋さんが多い・まちづくりを先進的にとりくんでいる・明るくよい事だと思う
- ・普段通ることがなかったのでもいい企画だと思う・正直、夜の街というイメージが、強かったが今回のマルシェで明るい印象を持った。・いろんな取り組みをしているイメージがある・平日と休日の人の流れが違う・歴史、趣深い。飲食店が多い。オフィス街。エリアマネジメント・オフィス街？明るい？
- ・都会・にぎわいがあり良かった
- ・楽しそう！・昔ながらの街並みと新しいものがうまく融合されていると思う。

おわりに

千頭 聡

まちづくりプロジェクト チームリーダー
日本福祉大学 特任教授

【出発点】

国の選定を受けて始まった、名古屋市 SDGs未来都市まちづくりプロジェクトは、この2年半の間に当初の想定を大きく上回る成果を生み出してきました。2019年12月、名古屋市や地域の呼びかけで企業が集まったプレワークショップが始まりました。また、海のものとも山のものともわからない状況の中で、集まっていた20社近い企業人が、自由に豊かな発想に満ちた議論を交わしたことが、このプロジェクトを刺激ある方向に導いていったと思います。

行政が声掛けして集まる場合は、ややもすると、お伝えする側と承る側という関係性にとどまりがちですが、参加した皆さんが、発想力を大事にして、こんなこともできるんじゃないかという提案を出し合ったことがとても印象的でした。2020年夏の複数回にわたるワークショップと秋のグループ別議論の土台は、この時に出来たと思っています。

【なごや環境大学】

このプロジェクトの担い手となった「なごや環境大学」は、1999年の藤前干潟埋め立て断念と、ごみ非常事態宣言の取り組み成果の上に立って、幅広い市民が環境に関わるもどかしさを持ち寄り、本音でなごやの未来を議論できる場

と仕組みをつくろうという、松原前名古屋市長の熱い思いからスタートしています。市民、地域団体、NPO、企業、大学、行政など多様なセクターが2004年に実行委員会を立ち上げ、名古屋市からの財政的な持ち寄りの中で、運営が始まりました。現在、年間数百コマの講座をNPOや企業とともに開催したり、色々な社会実験や環境自治体のネットワークづくりなどに取り組んでいます。

錦二丁目でのSDGs未来都市プロジェクトへの参画は、なごや環境大学にとって久しぶりの本格的な社会実験への参画でもありました。多様な価値観を持つ方々と一緒にプロジェクトを実施できたことは、なごや環境大学の次の展開を考える上でも、とても意義深いプロジェクトでした。

【SDGsにどうアプローチするか】

SDGsは持続可能な社会を実現していくために必要な多岐にわたる取り組みを体系的に、ゴール・ターゲットとして示しています。17のゴールは決してそれぞれが単独で達成しうるものではなく、相互に深く関係しあっているからこそ、そのつながりを意識することが大切です。また、SDGsは地球全体の持続可能性を念頭においたものですが、地域にとっては、持続可能な社会を実現するためのアプローチは一つではありません。豊かに自然資源があるにも関わらず人口減少と高齢化の著しい中山間地域で考え

るSDGsと、数多くの企業が事務所を構え、かつての繊維の街から新たな都心へと変貌をとげつつある錦二丁目を考えるSDGsは、当然、その組み立てや力点の置き方が異なってきます。もちろん、最終的にめざしたい社会は同じなのですが。錦二丁目では、SDGsに関心を持つ企業や団体、個人が、自分たちの強みと資源をさらに生かす方向で取り組むことが可能ですし、逆に弱みを克服するためにアプローチしていくことも可能です。持続可能な側面をさらに伸ばし、持続不可能な側面をできるだけ縮小していくという両面でのアプローチが必要です。

【街と人の相互関係】

持続可能な街とはどんな街かを考えるとき、街と人との相互関係も大切になってきます。もちろん、街は人が作るものです。新しい技術を埋め込み、快適だけでなく環境負荷の少ない街をつくりあげていくこと、あるいは、人々がいつも集い、ワクワクする出会いに満ちた空間と社会を創っていくことは重要なことです。同時に、そこに住み、働くことによって、人が育てられ、行動変容を自然と起こしていくことができる、そんな不思議な力を持つ街では、街と人との相互関係が持続可能性を高める方向でスパイラルのように上っていきます。錦二丁目にある木質ベンチに腰掛けると、冷たいプラスチックのベンチに座るのとは違う何かを気づかせてくれることと思います。

【プロジェクトを支えてきたもの】

このプロジェクトが、2年間の間に、非常に多くの動きを実現できた最大の要因は、錦二丁目の地域自体が、まちづくり協議会を組織し、エリアマネジメント会社を設立して、すでにSDGsの達成を意識したまちづくりを展開していたことです。SDGs未来都市への選定は外的な要因ですが、それと、錦二丁目のエリアマネジメントという内的な要因とが非常にうまく有機的に結びついたことに大きな特徴があります。自ら動いて自分たちの地域を変えていこうという意識が高い地域では、外からの新しい働きかけや刺激を自分たちのパワーにすぐに変えていける能力を持っている、ということをし、錦二丁目の皆さんから学ぶことができました。これは、私個人にとっても、とても大きな収穫でした。

【気づきとつながり】

ふりかえてみると、2年間の数多くの動きは、常に、「気づき」と「つながり」に満ちていました。錦二丁目の取り組みに関心を持っていた、数多くの企業や団体、個人の方々は、自分ならばこんな風にかかわれるのだ、という発想を豊かに持ち、参画していただいたと思います。だから、こそ、何度も開催されたワーキングや話し合いの場に参加することで新たな気づきが生まれ、それが次の行動を考えていく大切な機会になっていったのではないのでしょうか。さら

に、その気づきが刺激となり、発想のヒントとなって、新しいつながりが次々と生まれてくる、とてもワクワクした2年間だったと思います。

【多様性を強みとして生かす】

SDGs未来都市を実現していくために、唯一の正しい道筋はないかもしれないけど、でも取り組む必要があることはたくさんあるはずです。その時、立場や考え方、関心のある分野やテーマ、年齢、ジェンダー、国籍、色々な違いを弱みとしてとらえるのではなく強みとしてとらえることが重要です。2年間の活動の中で、広くはない錦2丁目に、実はとても多様な方がいるということがわかってきました。ひょっとしたら、その多様さにひかれて、また新しい方が荷解き2丁目に吸い寄せられてきているのかもしれない。その多様性を楽しみ、活かしていくことこそ、SDGs達成にとって欠くことのできないアプローチだと考えます。

【検証・評価】

この2年間で、持続可能な街に向けて確かな1歩を歩みだしたと言えます。しかし、街が具体的にどう変わりつつあるのか定量的に評価するにはまだ時間が必要です。

SDGs未来都市を実現していくためには、まだ第一歩として、街が本当に持続可能な方向で動き出したかを検証し、その動きを見える化していくことが必要です。そのためには、どのような尺度で街

の動きを把握し、見える化していくか、ある種の評価尺度も必要です。いわゆるアウトプット型の評価指標に加えて、街に住み、集い、働く人々のSDGsコンシャスの度合いを測ることができるしかけやしくみを考えていければいいのではないのでしょうか。

【最後に】

この報告書が発行される頃には、錦2丁目に350戸以上の新しい大規模マンションが建設され、入居者が続々と街の住民になっているはずです。新しく転入される人たちが、錦2丁目に何を求めて転入してくるのかを明らかにするためには、これからのきめ細かい分析が必要ですが、少なくとも、この街に大きな期待を抱いていることは間違いないと思います。

SDGs11「住み続けられるまちづくりを」を実現していくためには、ハード、ソフト含めた様々な取り組みが求められます。そしてなにより、そのまちづくりに、すべての人が自ら主体的にかかわっていくことが不可欠だと考えます。

錦2丁目に住まい、働き、関わる全ての人にとって、SDGs達成に向けたアプローチが、「自分ごと」となり、さらには「みんなごと」になることを切に願っています。そして、みんなごととしてSDGs達成を目指すために、多様性の強みを生かしたまちづくりが進むことを、今日からも楽しみにしています。

堀田 勝彦

まちづくりプロジェクト チームメンバー
錦二丁目まちづくり協議会 会長

この2年は錦二丁目が2019年にSDGs宣言を採択して以来の動きが大きな成果として集大成した2年になった。千頭先生からはSDGsの活動の中で「気づきとつながり」の重要性を教えられたが、振り返ると「錦二丁目のSDGs未来創造とは」では意味や目的を地元の住民や企業に伝え、その中で様々な気づきが生まれ、そこからやるべき事をみんなが創り出し、その実現の為にいろいろなつながりが形成されていった。この報告書にあるたくさんの事業がこのプロセスで実現したのはもちろんだが、この1年の事業からまた新しい気づきが生まれ、そしてさらに新しいつながりが現在進行形で動いている。あらためてSDGsは多くの人と共に歩める素晴らしい開発目標だと感じる事ができた。20年前に有志でまちの将来を考えた時のキーワードがリレーションだった事とその際に素晴らしい映画は素晴らしいメンバーが集まった時点で成功が見えると話した人がいたが、まちの人のように大活躍をした名古屋市職員、進むべき道を示して頂いた千頭先生はもちろん、地元企業や関係者さらには多くの協力者のつながりや協力があっての成功であり、この素晴らしい人達との出会いに感謝したい。

名畑 恵

まちづくりプロジェクト 事務局
錦二丁目エリアマネジメント株式会社

なぜまちぐるみでSDGsにとりくむのか？この2年間で実感したことは、まちにはSDGs17「パートナーシップ」の必然性と自分の役割が目の前にあるということです。例えば、ワークショップ参加者が「SDGsは大事だけれど、感動がないから私どもの映画館(伏見ミリオン座)で担当します」という発言が象徴しています。その後発言された方が中心となって、SDGs映画祭を実現されました。地域のコーヒーショップや企業、団体、地域を巻きこんでの開催となりました。SDGsコミュニティステーション(緑にとけこむベンチ)については、錦二丁目まちづくり協議会公共空間部会、町内会、地先企業の連携、名古屋市では庁内の中でも環境局、緑政土木局、住宅都市局が横断的に取り組む必要があり、愛知県警が安全性の立場からの判断をし、デザインは名古屋市大の大野研、制作・施工は各社がもつ技術の中でも相当な難関を乗り越えての実現でした。このように、各プロジェクトに協働があり、全体で約100にも及ぶ団体・企業・地域の主体がそれぞれに新たな挑戦を持ち寄ってきた2年間でした。目の前に課題があり、自分の役割も見え、パートナーシップによって実現できる、これがまちという「場」に接続した取り組みの価値ではないでしょうか。

最後に強調したいのは、企画実施に携わる私たち当人がとても楽しかったということです。それは「できなかったことができるようになる」、子どもの時に毎日がキラキラした感覚のように、本当に楽しかったのです。やや背伸びをしすぎた2年にも思われますが、これを一過性のPRや社会実験に終わらせることなく、地域の着実な成長につなげていけるかが問われています。これからもこの楽しさを共にできる関係を掘っていきたいと思います。

なごや環境大学 実行委員会事務局

名古屋市環境局環境企画課

2019年に名古屋市が内閣府の「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、2020年に市民・企業・行政等が協働で運営する「なごや環境大学」にSDGs未来創造クラブを設置しました。

SDGs未来創造クラブでは、市民や企業へのSDGsの浸透を図り、SDGs達成に向けた活動や行動を創出するため、低炭素モデル地区であり、SDGsに対する機運が高まっていた錦二丁目モデルエリアに、持続可能なまちづくりを推進する「まちづくりプロジェクト」を開始しました。

SDGsワークショップでは、初開催にもかかわらず地域内外の多くの企業・団体に参加いただき、地域課題をSDGsの

考え方を通じて解決するプロセスを踏まえながら検討を行うことで、地域と参加企業等のSDGs実現に向けた共同の旅路が始まりました。また、マルシェ等を通じてSDGsの見える化を行い、まち中にSDGsの輪が広がりました。さらに、SDGs映画祭など、プロジェクト参加企業等の独自の取組みが進みました。

この2年間、プロジェクトを進めるにあたり、錦二丁目まちづくり協議会、錦二丁目エリアマネジメント株式会社をはじめ、地域内外の多様な企業・団体等の皆様とパートナーシップで取り組んでまいりました。多くの皆様にご尽力いただきましたことを心より感謝申し上げます。今後も、2030年のSDGs達成に向け、共同の旅路を続けてまいります。

2020

SDGs まちづくりプロジェクト
参加企業募集

2020年11月6日(土)～20日(土)
会場 / 本会館2F 第2丁目SDGs会館

1. 第2丁目のSDGsを体感、学べるイベントが、第2丁目に集まります。
2. このまちでSDGsを体感、学んでみませんか？

参加企業募集
SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

企業活動とSDGs
~SDGsの実践に向けて~

9/2(水)14:00～16:00
会場 / 第2丁目SDGs会館

1. 時代の変化とSDGsにおける企業の役割
2. 第2丁目内企業のSDGsの取組について
3. 企業がSDGsを推進するには？

参加費 無料
申込期間 2020年8月10日(月)～8月20日(水)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

SDGs マルシェ

11/28(土)11:00～16:00
会場 / 第2丁目SDGs会館

SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

第2丁目まち歩きMAP

SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

SDGs マルシェ

11/28(土)11:00～16:00
会場 / 第2丁目SDGs会館

SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

REPORT

SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

SDGs まちづくり協働事業 in 第2丁目 提案募集

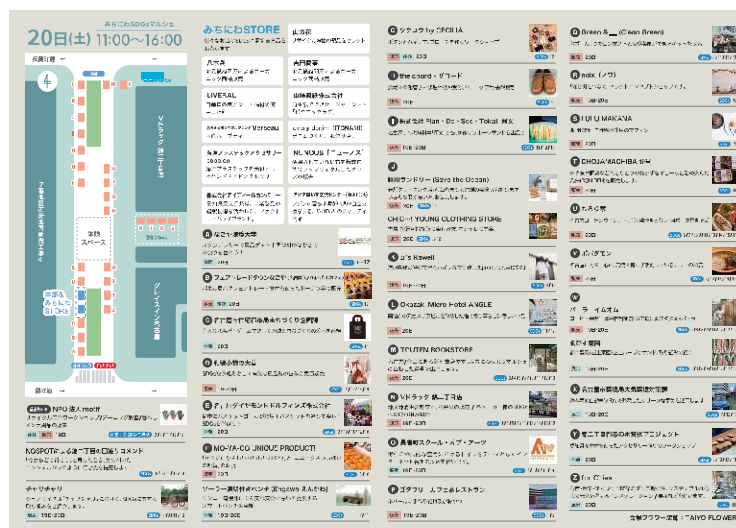
オンライン説明会
2021年6月17(水)18時～20時
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp

SDGs WEEKS

2021年11月6日(土)～20日(土)
会場 / 本会館2F 第2丁目SDGs会館

SDGsを推進する企業様へ、SDGsを体感、学べるイベントを開催します。

参加費 無料
申込期間 2020年10月15日(木)～10月25日(月)
申込先 第2丁目SDGs会館 事務局
TEL 047-230-2200
FAX 047-230-2201
Eメール sdgs@city.nagasaki.jp



1  2  3 

SDGs 未来創造クラブまちづくりプロジェクト活動報告書

■まちづくりプロジェクトチーム

○千頭 聡（日本福祉大学 国際福祉開発学部 特任教授／チームリーダー）

○堀田 勝彦（錦二丁目まちづくり協議会 会長／チームメンバー）

○事務局

錦二丁目エリアマネジメント株式会社 | 名畑恵、森田紘圭、阿部充朗、田口健二郎、
白石恭一、金森菜月、浅井梨紗

なごや環境大学（名古屋市環境局）| 須網正人、市橋和宜、小川勉、尾上圭、川津知実

■SPECIAL THANKS TO

本プロジェクトに参加・協力・関わっていただいたすべてのみなさん

■撮影 | あいざわけいこ, fujico, TKC, 近藤喬、名畑恵, 白石恭一

■編集・発行 ○なごや環境大学 SDGs 未来創造クラブ（名古屋市環境局環境企画課）

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL 052-972-2293

Mail a2669@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

○錦二丁目エリアマネジメント（株）

2022年3月発行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



なごや環境大学



古紙/パルプ配合率70%再生紙を使用